

まちづくり懇談会内容【公開用】

日 時：令和元年 6 月 12 日（水） 18：30～20：17

場 所：農村環境改善センター（2 階）研修室 B

出席者：角田・中部地区 10 人

1. 開会

2. 町長挨拶

※配布資料確認および日程説明

3. 懇談

(1) 第 6 次総合計画後期実施計画（別紙 1 参照）

(2) 栗山町スキー場の廃止（別紙 2 参照）

(3) 公共料金の見直し

Ⅰ 公共施設使用料の改正（別紙 3-1 参照）

Ⅱ 下水道料金の変更（別紙 3-2 参照）

(4) 町からの情報提供

Ⅰ 避難行動要支援者名簿（資料 1）

Ⅱ 出前型政策・施策説明会の活用（資料 2）

(5) 自由懇談

4. その他

5. 閉会

《質疑応答》

【栗山町スキー場の廃止】

町民：スキー場の廃止は仕方がないが、自分たちで踏み固めてスキーを滑ることはできないのか。

町長：これまでの議論でも、（リフトを使わない）スキー公園のような形で残せないかという意見もスキー連盟などからありましたが、安全面などの課題があり、スキーをすることは難しいと考えています。スキーに関しましては、車で約 15 分のところに北長沼スキー場があり、もともと多くの人が利用していて、あまり不便は感じていないという声を聞いています。スキー場の跡地については「沿道に植林をする」「展望デッキを作る」など、活用について今後検討していきたいと考えています。

町民：いくつかの力を入れていかなければならない町政課題の中で、スキー場の問題は子どもたちが主役になることであり、格差を作ってはいけない。子どもたちの思い出を残すことを考えると、自分の生まれたところのスキー場で楽しくスキーをしたほうが良い。歴史のあるスキー場を使わないようにするということは、まちの財産の一つをなくしてしまう気がする。私たちも積極的に意見を言ってこなかったことに責任はあると思うが、これからの未来を担う子どもたちが、栗山からいなくなるようでは、将来にも影響していくのではないかな。

町長：これから議会でしっかり議論をしていくことになります。

町民：今まで何度かスキー場のことは問題になっていたが、急に今起きた問題になっているような気がする。子どもの幸せの場になっていたところが削られていくのは残念。

【公共料金の見直し】

町民：10月に消費税を引き上げると政府は言っているが、まだ決定もしていないし、反対の声も非常に大きいので、先送りや中止になるかもしれない。仮に値上げされた場合、消費税の上乗せ分は町民に転嫁するのか、町が補てんするのか。また、町が補てんする場合、財政にどれくらいの負担がかかるのか。

町長：今回の改定は、あくまでも消費税率の改定に伴う使用料の改定になります。10月からの適用を行うため、6月の議会に提案しなければならないことをご理解願います。公共施設使用料も上下水道料金も課税の対象になり、国からも適正に転嫁するように指導されていますので、ご理解をいただきたいと思います。

【町からの情報提供】

町民：避難行動要支援者名簿だが、要介護などに認定されていない方も、名簿作成時に名乗り出てもいいだろうか。

総務課主幹：要介護認定者や手帳をお持ちの方は自動的に名簿に登録されます。高齢者や一人暮らしの方、その他の支援が必要な方なども名簿の登録をいただいています。

【自由懇談・その他】

町民：高齢者の運転免許返納制度があまり知られていない。広報などで広く知らせるようにしてほしい。

町民：①自衛隊の戦車のようなものが通って行った。夕張川の橋や岩見沢に向かう道路で見た。戦車が通るという連絡は町に来るのか。

②外国人労働者人数は把握しているか。就労施設などの数は把握しているか。町としてそういった方との交流はしているか。

③役場の職員住宅で、軒下が壊れて下を向き、危険な状態となっている。雑草もひどい生えているが、管理はどうしているのか。

町長：①戦車は自衛隊の方と会う機会がありますので、確認をしたいと思います。

②以前は、外国人登録制度でありましたが、現在は住民登録されており、人数などは確認できます。法律が変わって、外国人労働者の受け入れについて拡大されましたので、これからの状況を見ながら対応を検討していきたいと考えています。

③職員住宅は、後ほど確認します。

町民：角田地区の住民は、みんな買い物する場所に困っているので、コンビニなどの店舗を誘致してほしい。また、角田地区にもコミュニティバスのようなバスがほしい。

ブランド推進課長：店舗誘致につきましては、コンビニ本部と交渉していますが、コンビニ単独では難しいことから、他の店舗と合わせて出店することも含めて考えていきたいと思っています。また、町の空き店舗活用事業の範囲を拡大して、制度を活用しやすくしています。

建設総括：これまでもバスの要望はありました。現在、令和4年度の町営バスの運行見直しに向けて、今年2月にコミュニティバスに関するアンケート調査を行いました。その結果を役場内部で検討した後、町民も皆さんも交えて、全体的な町営バスの運行について検討していきたいと考えています。